

質疑・一般質問

6月11日、12日の本会議では、質疑5名、一般質問10名の議員が通告に基づいて発言し、議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。(発言順に掲載)

その他の質問については、議会中継や会議録検索システム(9月中旬に掲載予定)にてご覧いただけます。

- 質疑…市長から提案された議案等の議題となっている案件に対し、不明確な点を問い、案件の提出者等に説明や意見を求めること。(1人当たりの制限時間は40分)
- 一般質問…市長をはじめとする執行機関に対し、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて問うこと。(1人当たりの制限時間は60分)

副市長の選任について(議案第54号)

質疑



植田 通孝 議員
(自民の風・誠真会)

問 民間から新しい副市長を選任されるとのことですが、加西市に熱い思いを持って高い志のもと市民の生活の向上と発展に邁進していただける人なら大いに歓迎ですが、どうしてこの方に白羽の矢を立てられたのか。選任の理由をお尋ねいたします。

答 民間の経営感覚と優れた経営手腕を持った方で、加西市をさらに活性化したいという大きな意欲をお持ちでございますので、佐伯さんを選ばせていただきました。

問 民間の一流企業での実績並びに北条鉄道での実績は、申し分ないものと私も認識しております。ただ、その行政事務に関する資質と能力について市長はどのように評価されたのか。

答 あまり今の時代行政ということにこだわって資質能力の評価をする必要はないのではないかなど。一流の方ほど、どの組織にあっても立派にその任務を果されるというふうに思っております。

問 副市長は市長を補佐して組織を統括する等、非常にハードな職務であるわけですが、そうした激務をこなす気力と体力についてどのように評価されたのか。

答 77歳という年齢でございますが、隠居されておるわけではございません。北条鉄道で陣

頭指揮を取っていただいております。何ら気力、体力に問題ございません。

問 行政は民間と違って市民への奉仕の精神のもと行政事務に専念しなければなりません。その公僕意識についてどのように評価されたのか。

答 副市長というのは、広く公、市民あるいは公衆に奉仕する立場であるかなというふうには思っております。加西市に対する強い問題意識、そして民間ですばらしい働きをされ、そして地域に帰ってこられて、まだやはり残り残したことがあるという、私はその考え方自身が公に奉仕する考え方だと思っております。

■その他の質問項目

- ・議案第42号、議案第43号、議案第44号